

# トライアングルの奏法

## 1 基本的な持ち方:

トライアングルの上部に紐を結び付け、片手の指に掛けて吊り下げます。使用する紐は、トライアングルの重さに耐えられるものを選びましょう。

## 2 奏法のコツ

指の上下とトライアングルの隅で正三角形を作るように、外側へ手首を傾けます。これにより、音を揃えやすくなります。

## 3 練習方法:

日々の練習において、同じ音を演奏する練習やリズムを変えて練習することが重要です。また、ロールに挑戦することも効果的です。

## 4 音の出し方

トライアングル本体を持っている手を軽く押さえ、音を切るなどのミュートを行うことができます。

# 小太鼓

## の奏法

### 基本的な打ち方

小太鼓を演奏する際の基本的な打ち方には、以下のようなテクニックがあります。

### 基本のストローク:

小太鼓を叩く際は、手首を使ってスナップを効かせることが重要です。手のひら全体で鼓面を打つことを意識しましょう。左手の手首を鼓面に押しつけ、そこを支点にして叩くと良い音が出ます。

### リズムパターン

小太鼓では、様々なリズムパターンを演奏します。例えば、三拍子のリズムを繰り返しながら、右手と左手を交互に使う練習が効果的です。基本的なリズムをマスターすることで、より複雑なパターンにも挑戦できるようになります。

### ソース

#### ①パラディドル

パラディドルは、小太鼓の基礎奏法の一つで、特にマーチングやドラムコーでよく使われます。パラディドルは、以下のように構成されています。

#### ②パーカッションライブラリー

##### a シングルパラディドル

右手と左手を交互に叩く (RLRR または LRL)

##### b ダブルパラディドル

右手を2回、左手を1回叩く (RLRLRR または LRLRL)

このようなテクニックを練習することで、リズム感や手の動きを向上させることができます。

## 練習方法

### 基礎打ちの練習

5つ打ちの練習を行い、リズムを体に覚えさせることが重要です。手首や指の動きを滑らかにするために、徐々に速くしたり遅くしたりしながら練習します。

### リズム遊び

リズムを言葉にのせて演奏することで、楽しみながらリズム感を養うことができます。特に子供たちには、身近な言葉を使うと興味を引きやすいです。

## バスドラ

打面と身体を中心を揃えるように立つ！

- ・バスドラムの演奏する際の立つ場所は、楽器の後方です！
- ・バスドラムは叩く面が自分の身体の正面に来る場所で演奏します！

この場所で演奏する理由は、腕の力が楽器に伝わりやすく、響く音を狙って演奏しやすいからです！

さらに、体に余計な力がかからないため、無理なく演奏出来ます！

演奏中の左手は楽器に添わせる！

打面と体を中心を揃えると、これまで打面に沿わせていた左手が届かなくなってしまうかもしれません。

しかし、左手は打面に触れている必要はないので、届かなくても大丈夫です！

左手は楽器の側面に置くイメージで添わせましょう！

バスドラムの演奏において、音を止めながら演奏する場面はほとんどありません！

むしろ、バスドラムの音を止める場合は、裏の面をしっかりと止める必要があります。

バスドラムの音を止めたい場合の左手は、裏面を止めるように意識しておきましょう！

## ティンパニ

の演奏法は、基本的な打ち方、マレットの持ち方、音色の出し方、練習方法に重点を置いています。

基本的な演奏技術

単発の演奏: ティンパニを叩く際は、マレットをケトルの反対側に振り下ろし、

その反動で元の高さまで戻すことを意識します。手首や腕の脱力が重要で、リラックスした状態で重力を利用して叩くことが求められます。

ロール奏法: 両手を使って打面を交互に叩くことで持続音を作り出します。ティンパニは響きやすいため、速く叩く必要はなく、ゆったりとしたリズムで音を響かせることが大切です。

ソース

マレットの持ち方

マレットは通常、先端がフェルトで覆われたものを使用します。持ち方としては、マレットの真ん中よりやや下を親指と人差し指で軽く握り、他の指には力を入れないようにします。叩く位置はヘッドの中心より少し手前側が理想です。

ソース

音色と響きを意識する

良い音を出すためには、マレットが打面に当たる角度や位置に注意が必要です。ティンパニの胴体部分全体に力を伝えるイメージで演奏し、ヘッドと胴体部分の振動を妨げないようにします。これにより、豊かな響きを得ることができます。

ソース

練習方法

良い音がする位置を確認: ティンパニを演奏する際には、良く響く場所を狙って叩くことが重要です。叩く場所を意識して練習し、音のコントロールを向上させましょう。

精神的な準備: 演奏前にリラックスし、自信を持って演奏に臨むことが大切です。特に初心者は、心構えを整えることで演奏の質が向上します。

これらのポイントを意識して練習することで、ティンパニの演奏技術を向上させることができます。ティンパニは特有の音色と演奏技術を持つ楽器であり、演奏者の技術によってその音色が大きく変わります。